

宇都宮大学で、講義「地域デザイン実務 I」に登壇

宇都宮大学で今年 2 度目となる対面授業

株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング（本社：東京都台東区、代表取締役社長：遠藤一郎、以下 ATK）では、大切にしている価値観（バリュー）の一つとして、当社の資源を生かした「社会貢献活動に取り組む」ことを掲げています。その一環として ATK は 2018 年より毎年、宇都宮大学地域デザイン科学部の講義に登壇しています。

2025 年 7 月 3 日には、ATK 地盤コンサルティング事業部の事業部長、佐藤毅が登壇し、「地域デザイン実務 I」の対面授業を行いました。5 月 28 日に 3 年生を対象に行った「地域デザイン実務 II」に続く登壇です。

1 年生を対象とした「地域デザイン実務 I」は、地域の現状や課題について幅広い視点から理解するための導入授業として位置づけられており、今回は「地域の姿の移り変わりと災害への取り組み」をテーマとしました。

佐藤に続いて、同学部 OG である ATK 若手社員が登壇し、自身の担当業務について説明しました。そのうえで、聴講する学生へ「どんな仕事に就きたいか」を投げかけ、答えていただきながら意見交換を行いました。

最後には、事前に示していた課題「限界集落」について、立地や人口構成、生活様式、コミュニティなど、多角的に熟慮された多様なレポートが学生から提出されました。

全体を通じて、学生からは「建設コンサルタントの具体的な仕事内容を知ることができた」、「街づくりに携わる会社への就職を目指したく、非常に参考になり、刺激を受けた」、「OG が社会で活躍していることを直接的に知り、自分自身の将来について漠然とも考えはじめることの重要性を感じた」などの感想が寄せられました。

以上

